

第66回学術大会
日本宗教学会 2007

『宗教—存在の深層へ』

2007年9月15日・16日・17日



立正大学
(大崎キャンパス)

「お知らせ」 と 「お願い」

1. 受付手続きの際、必ず名札をお受け取り下さい。名札は、常に身に付け、お帰りの際にはご返却下さい。
2. 受付には、学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 発表題目、パネル構成員の変更は一切認められません。プログラムと同一にして下さい。
4. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」において下さい。
 - ・申し込み時に、パワーポイント、OHP、スライドの使用を申請された方へ
個人発表は発表の2人前、パネル発表は開始20分前までに、会場係にお申し出下さい。
5. 発表時に配布するレジュメ・資料は、余裕をもってご用意の上、会場係にお渡し下さい。
6. 発表時間は以下のように構成されます。時間厳守でお願いします。
 - ・個人発表 発表15分、質問5分、計20分（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）
 - ・パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保下さい。
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動及び、プロジェクターなど機器の設置に時間が必要なことを加味して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けました。趣旨を充分にご理解頂き、この5分間を議論の延長などにご用いないようお願いいたします。
8. 万が一、発表取り消しがあった場合でも、その後の発表を詰めて行うことなく、予定時間通りに発表して頂きます。
9. 個人発表のレジュメ（表紙・本文）について
提出先：部会責任者。本冊子13頁の表紙に必要事項を記入し、本文と一緒にご提出下さい。
レジュメは、紙原稿の他に、電子データの提出をお願いしています。
詳細は、12頁の「レジュメの作成と提出の注意」をご覧ください。
10. パネル発表のレジュメ（表紙・本文）について
代表者が発表者のレジュメをとりまとめて、大会最終日までに、部会責任者にご提出下さい。12頁の「レジュメの作成と提出の注意」に従って作成して下さい。
パネル代表者は、「パネルの主旨とまとめ」（パソコン原稿：1行40字×40行）と「パネルの欧文タイトル」を、9月末日までに、学会事務局にご提出下さい。
11. 所定の場所以外での喫煙は、ご遠慮下さい。

受付	9月15日 石橋湛山記念講堂 9月16・17日 5号館1階 エントランスホール
会員休憩室	523教室（5号館2階）
クローク	9月15日 3B1教室（3号館地下1階） 9月16・17日 512教室（5号館1階）
学会本部	51A教室（5号館1階）
大会実行委員会	511教室（5号館1階）

15日(土)

学会賞選考委員会	52A教室(5号館2階)	11:30-13:00
庶務委員会	52B教室(5号館2階)	13:00-14:30
国際委員会	52C教室(5号館2階)	13:00-14:30
情報化委員会	52D教室(5号館2階)	13:00-14:30
宗教文化士(仮称)検討委員会	52E教室(5号館2階)	13:00-14:30
開会式	石橋湛山記念講堂	14:30-14:40
公開シンポジウム テーマ「宗教における行と身体」	石橋湛山記念講堂	14:40-17:40
講演	渡邊 学(南山大学) 鎌田 東二(京都造形芸術大学) 矢野 秀武(駒澤大学) 鶴岡 賀雄(東京大学)	
コメンテータ	望月 哲也(立正大学)	
司会	渡邊 寶陽(立正大学) 三友 健容(立正大学)	
理事会	334教室(3号館3階)	18:00-20:30

16日(日)

研究発表(個人)	各教室	9:00-12:40
評議員選考委員会	52A教室(5号館2階)	10:00-12:00
評議員会	341教室(3号館4階)	12:40-14:00
研究発表(パネル)	各教室	14:00-16:00
会員総会	341教室(3号館4階)	16:20-17:40
懇親会	学生食堂(6号館)	18:00-20:00

17日(月・祝)

研究発表(個人)	各教室	9:00-12:40
編集委員会	52C教室(5号館2階)	12:40-13:30
研究発表(個人)	各教室	13:30-17:35
プログラム委員会	52A教室(5号館2階)	14:00-15:30



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-----------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | グラストンベリーという聖地—人々の日常実践の視点から— | 河西瑛里子(京大) |
| 2. 9:25-9:45 | 心霊研究の方法論と存在論—科学主義の挫折と民俗の知恵— | 實川 幹朗(姫路獨協大) |
| 3. 9:50-10:10 | ユングの神話論に関する—考察 | 杉岡 正敏(京都造形芸術大) |
| 4. 10:15-10:35 | ユングの全体性神話と『ゲド戦記』 | 高橋 原(東大) |
| 5. 10:40-11:00 | 『ガンダム SEED』にみられる日本人の終末観 | 十津 守宏(鈴鹿短大) |
| 6. 11:05-11:25 | 哲学者と世界内的な死の表象—「死後生」問題への一視角— | 堀 雅彦(札幌学院大) |
| 7. 11:30-11:50 | 死者の幻影—民俗学と近代スピリチュアリズムの間— | 津城 寛文(筑波大) |
| 8. 11:55-12:15 | 死生観研究の現代的課題と「供養の文化」論の可能性 | 中村 生雄(学習院大) |
| 9. 12:20-12:40 | 宗教研究におけるインサイダー／アウトサイダーの問題 | 中村廣治郎(東大) |

パネル	14:00-16:00	死と死者の表象	代表者：鈴木 岩弓, 5名, 120分
		描かれる死者—ムカサリ絵馬というイメージ—	小田島建己(東北大)
		近代における葬儀写真集と肖像	山田 慎也(国立歴史民俗博物館)
		「もの言う」死者	鈴木 岩弓(東北大)
		過去を秩序づけ死を見ずえるアイデンティティ	宇都宮輝夫(北大)
			コメンテータ：木下 直之(東大)
			司会：鈴木 岩弓(東北大)

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | B. コンスタン『宗教論』とその宗教感情論 | 杉本 隆司(一橋大) |
| 2. 9:25-9:45 | シオランにおける仏教と神秘主義 | 藤本 拓也(東大) |
| 3. 9:50-10:10 | 宗教の学術研究と信仰者の自己理解 | 東馬場郁生(天理教校研究所) |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教現象学再考 | 宮嶋 俊一(大正大) |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教学の近代批判性とその再検討—M. エリアーデを中心に— | 佐藤慎太郎(東北大) |
| 6. 11:05-11:25 | 赦しのカーハンナ・アーレントの行為概念再考— | 今出 敏彦(京大) |
| 7. 11:30-11:50 | I. P. クリアーノの宗教(史)学における方法の問題 | 佐々木 啓(北大) |
| 8. 11:55-12:15 | マックス・ウェーバー『古代ユダヤ教』—パリア概念と諸問題— | 高橋 優子(立教大) |
| 9. 12:20-12:40 | ヴェーバーの教権制論と天皇対將軍、神主対名望家—マツリゴト— | 池田 昭 |

【午後】

- | | | |
|-----------------|--------------------------|-------------|
| 1. 13:30-13:50 | 民俗信仰の「変移」と近代化 | 渡邊 秀司(佛教大) |
| 2. 13:55-14:15 | 儀式の起源とその効用—ジラルルの説を中心として— | 岩井 美好 |
| 3. 14:20-14:40 | 宗教間対話としての東西靈性交流 | 峯岸 正典 |
| 4. 14:45-15:05 | 宗教民族学における神話研究の位置 | 山田 仁史(東北大) |
| 5. 15:10-15:30 | 訳語としての回心のルーツ | 徳田 幸雄(東北大) |
| 6. 15:35-15:55 | 宗教経験の分析概念としての「気づき」 | 原谷 桜(聖心女子大) |
| 7. 16:00-16:20 | 宗教研究と「アイデンティティ」 | 寺戸 淳子(専修大) |
| 8. 16:25-16:45 | オノツカラナルについて | 大西 昇(東京工芸大) |
| 9. 16:50-17:10 | 儀礼研究におけるリフレクシビティーの一考察 | 森下 三郎(天理大) |
| 10. 17:15-17:35 | 宗教を分ける—類型論の現在とその可能性— | 関 一敏(九大) |



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 児童文学の宗教性 | 大澤千恵子(東大) |
| 2. 9:25-9:45 | 西洋昔話(グリム童話)における神の働きについて | 長井 英子(関東学院大) |
| 3. 9:50-10:10 | 西欧近世における魔女・供犠・エロス | 黒川 正剛(太成学院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 「善」をめぐる思考—ソクラテス・プラトンの構造— | 和田 義浩(国士舘大) |
| 5. 10:40-11:00 | 現代におけるプラトンの宗教思想 | 土井 裕人(筑波大) |
| 6. 11:05-11:25 | ピコ・デラ・ミランドラにおける魔術と学知 | 比留間亮平(日本学術振興会) |
| 7. 11:30-11:50 | カントにおける恩寵をめぐる | 保呂 篤彦(筑波大) |
| 8. 11:55-12:15 | ヴェイユとカント | 脇坂 真弥(東京理科大) |
| 9. 12:20-12:40 | 後期フィヒテ哲学の宗教論について | 諸岡道比古(弘前大) |

- パネル 14:00-16:00 「知識人宗教」の問題圏 代表者：深澤 英隆, 5名, 120分
- 「知識人宗教」概念の生成とその射程 深澤 英隆(一橋大)
- 「知識人宗教」の「布教」戦略—宗教運動としての宗教史学派— 久保田 浩(立教大)
- 近代フランスにおける「知識人宗教」の「誕生」 伊達 聖伸(日本学術振興会)
- 近代日本の「知識人宗教」—宗教の知による再構成をめぐる— 星野 靖二(國學院大)
- コメンテータ：山中 弘(筑波大)
- 司会：深澤 英隆(一橋大)

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|---------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20 | 古代エジプトの神託とその社会的機能 | 深谷 雅嗣(筑波大) |
| 2. 9:25-9:45 | コルプスとその表象 | 大田 俊寛(埼玉大) |
| 3. 9:50-10:10 | 前期ハイデッガーにおける「現存在の形而上学」構想について | 田鍋 良臣(京大) |
| 4. 10:15-10:35 | ハイデッガーの思想と感謝—存在、思考、感謝— | 浅野 章(日大) |
| 5. 10:40-11:00 | ハイデッガーと現代ニヒリズム—エルンスト・ユンガーとの対決— | 田中 敏明(龍大) |
| 6. 11:05-11:25 | 存在と聖なるものの存在論—ハイデッガーとスコラ哲学の観点から— | 村上 喜良(立正大) |
| 7. 11:30-11:50 | F. スアレスにおける「純粹本性の状態」について | 林 伸一郎(明星大) |
| 8. 11:55-12:15 | ジャンニ・ヴァッティモの宗教論—神の死以降の愛論の可能性— | 佐藤 啓介(関西学院大) |
| 9. 12:20-12:40 | 「縁をはみ出す」ということについて | 松田健三郎(天理大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 13:30-13:50 | 聖なるものの遍在—ノヴァーリスにおける汎神論的傾向について— | 田口 博子(工学院大) |
| 2. 13:55-14:15 | ヤスパースにおける実存的交わりの形成 | 布施 圭司(米子工業高専) |
| 3. 14:20-14:40 | 後期ウイゲンシュタインにおける「私的言語」をめぐる | 神尾 和寿(流通科学大) |
| 4. 14:45-15:05 | 根拠なき信念再考 | 冲永 宜司(帝京大) |
| 5. 15:10-15:30 | 場所的論理と即非の論理 | 岡 廣二(十文字学園高) |
| 6. 15:35-15:55 | 空観における逆対応と平常底 | 青木 久美(沖縄高専) |
| 7. 16:00-16:20 | 純粹経験の根本的形式としての意志について | 加部 洋祐(帝京大) |
| 8. 16:25-16:45 | 西田哲学における行為的直観と生命 | 藤城 優子(日大) |
| 9. 16:50-17:10 | 西田哲学に於ける実在の根本性格について | 北野 裕通(相愛大) |



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 聖家族の足跡を辿る人々—コプト・キリスト教にみる巡礼の諸相— | 岩崎 真紀 (筑波大) |
| 2. 9:25-9:45 | スーフィー教団の存在論と身体性—現代エジプトと日本— | 新井 一寛 (大阪市立大) |
| 3. 9:50-10:10 | イスラームにおける宗教間対話—シリアの事例から— | 高尾賢一郎 (同志社大) |
| 4. 10:15-10:35 | イスラームのグローバル化と「アラブ性」の意味の変化 | 八木久美子 (東京外国語大) |
| 5. 10:40-11:00 | イツハク・アヴラヴァネルの現代性—ユダヤ人に政治は可能か?— | 平岡光太郎 (同志社大) |
| 6. 11:05-11:25 | ナフマニデスのトラー—註解研究 | 志田 雅宏 (東大) |
| 7. 11:30-11:50 | ユダヤ教における祈禱上昇の概念—ラビ文学からカバラまで— | 荻本 幸 (ヘブライ大) |
| 8. 11:55-12:15 | A. J. ヘッセルの宗教哲学—人間論の視点から— | 佐藤 貴史 (聖学院大) |
| 9. 12:20-12:40 | ユダヤ教メシアニズムに対するレヴィナスとショーレムの見解 | 市川 裕 (東大) |

パネル 14:00-16:00 (委員会パネル)「宗教文化士(仮)」の意義と可能性 宗教文化士(仮称)検討委員会, 6名, 120分

宗教文化士制度の必要性とその概要	井上 順孝 (國學院大)
社会調査士制度と比較して	大村 英昭 (関西学院大)
大学の授業の実態調査からみる制度設置の可能性	藤原 聖子 (大正大)

コメンテータ: 泉 堅二郎 (国際建設技術協会)
 コメンテータ: 藤田 正美 (ジャーナリスト)
 司会: 塩尻 和子 (筑波大)

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | 宗教的経験と感情—アウグスティヌス『告白』第9巻を中心に— | 田内 千里 (上智大) |
| 2. 9:25-9:45 | オリゲネスの聖書解釈における反グノーシス主義論争 | 出村みや子 (東北学院大) |
| 3. 9:50-10:10 | マグダラのマリアの多様なイメージ | 細田あや子 (新潟大) |
| 4. 10:15-10:35 | 災因論再考—主客反転の構図をめぐって— | 藤原久仁子 (法大) |
| 5. 10:40-11:00 | バシレイオスにおけるウーシア理解の深化 | 土橋 茂樹 (中央大) |
| 6. 11:05-11:25 | パウロにおける義化と義認とゆるしをめぐって | 野口 誠 |
| 7. 11:30-11:50 | 「無限」の観念と否定神学—クザーヌスの所論をめぐって— | 島田 勝巳 (天理大) |
| 8. 11:55-12:15 | マルティン・ルター「十字架の神学」の序説的考察 | 楠本 真三 (関西大) |
| 9. 12:20-12:40 | ニュッサのグレゴリオスにおける救貧と否定神学 | 土井 健司 (関西学院大) |

【午後】

- | | | |
|-----------------|-------------------------------|--------------------|
| 1. 13:30-13:50 | エルンスト・トレルチにおける神秘主義の問題 | 小柳 敦史 (京大) |
| 2. 13:55-14:15 | ジャン・ド・レリーの他者経験とその表象 | 渡辺 優 (東大) |
| 3. 14:20-14:40 | レヴィナスにおける「身代わり」と「言うこと」 | 村田 知子 (大谷大) |
| 4. 14:45-15:05 | F. ローゼンツヴァイクの思想における「世界」概念について | 丸山 空大 (東大) |
| 5. 15:10-15:30 | D. ボンヘッファーの人間学—『創造と墮落』を中心に— | 岡野 彩子 (大阪外国語大) |
| 6. 15:35-15:55 | 客体的存在からの解放—エックハルトにおける存在の動性— | 松沢 裕樹 (早大) |
| 7. 16:00-16:20 | カール・バルトにおける「イエス・キリストの自由」 | 阿久戸義愛 (筑波大) |
| 8. 16:25-16:45 | 仏教とキリスト教—『サシとの対話』による『十牛図』の解読— | 宮永 泉 (京都ノートルダム女子大) |
| 9. 16:50-17:10 | 聖書対近代主義の現在 | 新免 貢 (宮城学院女子大) |
| 10. 17:15-17:35 | 信仰の根拠について—〈信仰論〉の歴史的系譜と問題点— | 掛川 富康 (茨城キリスト教大) |



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 吉蔵によって理解された「顛倒」の概念について | 藤野 泰二 (立正大) |
| 2. 9:25-9:45 | 本無義の諸説について | 野田 悟史 (立正大) |
| 3. 9:50-10:10 | 章安灌頂尊者の伝記をめぐる諸問題の一考察 | 黄 瑜美 (立正大) |
| 4. 10:15-10:35 | 新出安世高訳仏典の用語判読に関して | 洪 鴻榮 (中華仏学研究所) |
| 5. 10:40-11:00 | 川僧慧濟伝の一考察 | 近藤 章正 (駒大) |
| 6. 11:05-11:25 | 仁岳の『止疑書』に関する一考察 | 金 希泰 (立正大) |
| 7. 11:30-11:50 | 宋代天台儀軌における大弁・功德二天の位置づけ | 林 鳴宇 (東方研究会) |
| 8. 11:55-12:15 | 撰論宗の九識説と法相宗の八識説について | 岩田 諦静 (身延山大) |

パネル 14:00-16:00 アジア SGI の展開と布教戦略ー各国の宗教環境と「随方毘尼」ー

代表者：西山 茂, 5名, 120分

中産階級の勃興とインド SGI

ランジャナ・ムコパディヤーヤ
(名古屋市立大)

中国の宗教環境と池田思想研究会

銭 丹霞 (中国社会科学院)

韓国 SGI 急伸の要因と背景

朴 承吉 (大邱カソリック大)

日本の創価学会における宗教的排他主義の変遷

大西 克明 (東洋大)

コメンテータ・司会：西山 茂 (東洋大)

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|-----------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 唐代文献における「空王仏」と「空王」 | 手島 一真 (立正大) |
| 2. 9:25-9:45 | 孝経緯の宇宙観 | 清水 浩子 (大正大) |
| 3. 9:50-10:10 | マルティン・ブーバーの道(タオ)解釈 | 堀川 敏寛 (京大) |
| 4. 10:15-10:35 | 漢代墓葬文書における「鎮墓」の概念 | 池澤 優 (東大) |
| 5. 10:40-11:00 | 八白室(成吉思汗陵)の宗教本質 | ゲ・ゲレルバートル (鈴鹿国際大) |
| 6. 11:05-11:25 | ニワと王権ー古代東アジアの庭園の諸相ー | 多田 伊織 (皇學館大) |
| 7. 11:30-11:50 | 中国近代の慈善ー積善と博愛ー | 宮田 義矢 (東大) |
| 8. 11:55-12:15 | 近代日中仏教関係史の一側面 | 野世 英水 (龍大) |
| 9. 12:20-12:40 | 現代中国の仏教復興ー上海市の寺院調査報告ー | 池上 良正 (駒大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-----------------------------|-----------------|
| 1. 13:30-13:50 | キリスト教解禁前後におけるキリシタンの信仰への一考察 | 内藤 幹生 (大正大) |
| 2. 13:55-14:15 | ペンテコステ派における開拓伝道に関する一考察 | 尾本 久美 (大正大) |
| 3. 14:20-14:40 | 新渡戸稲造と教育 | 森上 優子 (お茶の水女子大) |
| 4. 14:45-15:05 | 森有正の思想における宗教性 | 秦 雅美 |
| 5. 15:10-15:30 | 明治期来日宣教師の異端嫌疑 | 大江 満 (立教大) |
| 6. 15:35-15:55 | 日本正教会とロシア革命ー府主教セルギイの動向を中心にー | 伊藤 慶郎 (京都府立大) |
| 7. 16:00-16:20 | 近代日本の無教会キリスト者における歴史意識について | 村松 晋 (聖学院大) |
| 8. 16:25-16:45 | 再臨運動とユダヤ人問題ー内村鑑三とユダヤ人ー | 黒川 知文 (愛知教育大) |



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 八千頌系般若経と二万五千頌系般若経の比較研究 | 庄司 史生 (立正大) |
| 2. 9:25-9:45 | 『般若経』とアビダルマ仏教思想 | 齋藤 滋 (名城大) |
| 3. 9:50-10:10 | 『阿毘曇心論』業品における身口二業と四大の関係について | 智谷 公和 (相愛大) |
| 4. 10:15-10:35 | 『成業論』における過去の業実有説に対する世親の批判 | 那須 円照 (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 | 『十地経』における anubhāva について | 平賀由美子 (高野山大) |
| 6. 11:05-11:25 | 『華嚴経』「阿僧祇品」「入法界品」に説かれる算法について | 望月 海慧 (身延山大) |
| 7. 11:30-11:50 | 梵文「法華経」における空の用例 | 西 康友 (中央学術研究所) |
| 8. 11:55-12:15 | 「小善成仏」から「願成就」へ、『法華経』思想の軸線を定める | 津田 眞一 (国際仏教学大学院大) |
| 9. 12:20-12:40 | 『妙法蓮華経』の言辞 (nirukti) | 真野 龍海 (大正大) |

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 諸心起染－識身足論再考－ | 佐野 靖夫 (立正大) |
| 2. 9:25-9:45 | Wima Taktu 王について | チャロンシーセツ・サマーワディー
(立正大) |
| 3. 9:50-10:10 | ロンチェンパの瞑想論に於ける「観想」と「禅定」 | 津曲 眞一 (国立民族学博物館) |
| 4. 10:15-10:35 | ヴァイローチャナの伝記と『蓮華遺経』の関係 | 石川 美恵 (東洋大) |
| 5. 10:40-11:00 | チベットに伝わったスタソーマ・ジャータカ | 梶濱 亮俊 (摂南大) |
| 6. 11:05-11:25 | 初期ジャイナ教における慈悲 | 杉岡 信行 (東方研究会) |
| 7. 11:30-11:50 | 不二一元論学派における解脱について | 佐竹 正行 (東洋大) |
| 8. 11:55-12:15 | 知覚とブラフマン－Brahmasiddhi 第2章について－ | 黒田 泰司 (大阪学院大) |
| 9. 12:20-12:40 | R. オッターにおけるインド宗教の深層とその視座 | 澤井 義次 (天理大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--|----------------|
| 1. 13:30-13:50 | 仏教信仰形態の一考察－Sannati を中心に－ | 則武 海源 (立正大) |
| 2. 13:55-14:15 | 宗教都市ヴァラナシにおける信仰 | 宮崎 智絵 (立正大) |
| 3. 14:20-14:40 | アニミズムと靈魂概念－インドネシアの民族誌にみる－ | 相澤 里沙 (東北大) |
| 4. 14:45-15:05 | タイのスピリチュアリティー－タイ仏教との接点に関する一考察－ | 泉 経武 (東京成徳大) |
| 5. 15:10-15:30 | 信仰と美の人類学的考察－南インド・ケーララ州のテイヤム儀礼－ | 古賀万由里 (横浜国立大) |
| 6. 15:35-15:55 | ポストコロニアリズムと宗教 | 外川 昌彦 (広島大) |
| 7. 16:00-16:20 | ヒンドゥー司祭の世界進出と養成システムの変容 | 山下 博司 (東北大) |
| 8. 16:25-16:45 | インド・ヨーロッパ比較神話学における近年の動向 | 松村 一男 (和光大) |
| 9. 16:50-17:10 | スリランカの仏教遺跡の発掘、保存事業 Cultural Triangle の成果 | 橘堂 正弘 (椋山女学園大) |



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 往生伝における匂いと身体 | 吉村 晶子 (学習院大) |
| 2. 9:25-9:45 | 柳宗悦の妙好人論 | 李 勝鉉 (東大) |
| 3. 9:50-10:10 | 宗教的存在観についての研究—親鸞の仏身仏土観を中心として— | 中山 彰信 (九州情報大) |
| 4. 10:15-10:35 | 椎尾共生論における「いのち」について | 神谷 正義 (東海学園大) |
| 5. 10:40-11:00 | 無限、存在、他者—清沢満之と集合論— | 落合 仁司 (同志社大) |
| 6. 11:05-11:25 | 仏教とカウンセリング—親鸞とロジャース— | 友久 久雄 (龍大) |
| 7. 11:30-11:50 | 超越的でない「超越」—専修念仏の宗教哲学— | 菱木 政晴 (同朋大) |
| 8. 11:55-12:15 | 横川顕正の思想 | 和田 真二 (帝塚山学院大) |
| 9. 12:20-12:40 | 親鸞の信心の内的構造 | 加藤 智見 (東京工芸大) |

- パネル 14:00-16:00 <越境>する日本仏教の諸相 代表者：守屋 友江, 5名, 120分
- 近代日本仏教によるアジア布教の越境性 木場 明志 (大谷大)
- 日蓮宗における移民布教と植民地布教 安中 尚史 (立正大)
- アメリカニズムと仏教—ハワイ・北米における浄土真宗の再構築—
守屋 友江 (阪南大)
- 極東ロシアにおける浄土真宗—浦潮本願寺・太田覚眠を事例に—
松本 郁子 (日本学術振興会)
- コメンテータ・司会：藤井 健志 (東京学芸大)

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 親鸞の「共発金剛志」と共生—障害者との共生を一視座として— | 野嶋スマ子 (大阪外語大) |
| 2. 9:25-9:45 | 真宗信仰と靖国問題 | 宇治 和貴 (龍大) |
| 3. 9:50-10:10 | 務台理作『場所の論理学』と浄土教 | 土佐 明 (七尾看護専門学校) |
| 4. 10:15-10:35 | 戦争の論理とスピリチュアリティ—仏教者暁烏敏の場合— | 福島 栄寿 (札幌大谷大) |
| 5. 10:40-11:00 | 清沢満之の他力門哲学における無限と外部と他なるものの歓待 | 田崎 國彦 (明海大) |
| 6. 11:05-11:25 | 真宗伝道に関する一考察—寺院活動に関する聞き取り調査— | 長岡 岳澄 (龍大) |
| 7. 11:30-11:50 | 和讃に見る親鸞の経験論的表現について | 安藤 章仁 (龍大) |
| 8. 11:55-12:15 | 一遍の偈頌について—十一不二頌をめぐって— | 長澤 昌幸 (京都西山短大) |
| 9. 12:20-12:40 | 浄土教における現生観 | 桑原 恒久 (大正大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------|
| 1. 13:30-13:50 | 『群疑論』所引の『法華経』について | 大屋 正順 (大正大) |
| 2. 13:55-14:15 | 迦才『浄土論』における別時意会通説 | 工藤 量導 (大正大) |
| 3. 14:20-14:40 | 良忠当時の教団形成状況について | 沼倉 雄人 (大正大) |
| 4. 14:45-15:05 | 独訳「正信念仏偈」にみる東洋観 | 春近 敬 (大正大) |
| 5. 15:10-15:30 | 覚明房長西における『往生要集』理解について | 那須 一雄 |
| 6. 15:35-15:55 | 聖光の仏身仏土理解について | 郡嶋 昭示 (浄土宗総合研究所) |
| 7. 16:00-16:20 | 元照の時機観 | 吉水 岳彦 (大正大) |



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 日蓮聖人における天台大師讃仰の一側面 | 奥野 本勇 (立正大) |
| 2. 9:25-9:45 | 日蓮誕生伝承の再考察 | 大久保雅行 |
| 3. 9:50-10:10 | 備前法華教団と岡山藩の相克 | 坂輪 宣政 (立正大) |
| 4. 10:15-10:35 | 近世の身延山と江戸信徒 | 望月 真澄 (身延山大) |
| 5. 10:40-11:00 | 行学院日朝の活動について | 寺尾 英智 (身延山大) |
| 6. 11:05-11:25 | 『観心本尊抄』などに関連する日蓮の書簡について | 関戸 堯海 (立正大) |
| 7. 11:30-11:50 | 日蓮における地涌・上行自覚の再検討 | 間宮 啓壬 (身延山大) |
| 8. 11:55-12:15 | 日蓮—宗教性形成の社会学的基礎— | 笠井 正弘 |
| 9. 12:20-12:40 | 所謂「逆読法華」の意味するもの—存在論的法華観をめざして— | 河村 孝照 (日本伝統文化研究所) |

パネル 14:00-16:00 近代性と〈仏教〉—越境する近代仏教研究— 代表者：大谷 栄一，6名，120分
 〈仏教〉実践の言説化—「葬式仏教」論と葬祭研究を軸に— 土居 浩 (ものつくり大)
 明治前期の仏教と学校教育 谷川 穰 (京大)
 政治参加する仏教者たち—昭和初期の新興仏教青年同盟の事例— 大谷 栄一 (南山宗教文化研究所)
 戦時期の南方関与と仏教—真如親王奉讃会の組織と運動— 大澤 広嗣 (國學院大)
 思想史・文化研究としての近代仏教研究—仏教の近代性を問う— 岡田 正彦 (天理大)
 コメンテータ：福島 栄寿 (札幌大谷大)
 司会：大谷 栄一 (南山宗教文化研究所)

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|----------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 心性院日遠による法華経解釈をめぐって | 山崎美由紀 (立正大) |
| 2. 9:25-9:45 | 長松日扇の研究—「華洛本門佛立講」開講をめぐって— | 武田 悟一 (立正大) |
| 3. 9:50-10:10 | 近代日本にみる日蓮思想の受容 | 三輪 是法 (身延山大) |
| 4. 10:15-10:35 | 辻善之助の仏教史学とその展開 | オリオン・クラウタウ (東北大) |
| 5. 10:40-11:00 | 鈴木大拙における仙厓の書画への想い | 嶋本 浩子 (宝塚造形芸術大) |
| 6. 11:05-11:25 | 慈円における太子信仰 | 山口 剛史 (皇學館大) |
| 7. 11:30-11:50 | 空海における神仏混淆の意義 | 熊本 幸子 (お茶の水女子大) |
| 8. 11:55-12:15 | 神仏習合を基調とした善光寺信仰—もう一つの信仰形態— | 小林 順彦 (大正大) |
| 9. 12:20-12:40 | 日本法相宗諸目録及び章疏にみられる新羅仏教認識 | 福士 慈稔 (身延山大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------------|-------------|
| 1. 13:30-13:50 | 継承される宗教経験—『伝光録』にみる「悟」— | 大村 哲夫 (東北大) |
| 2. 13:55-14:15 | 禅宗と奈良時代からの「禪師」との関係について | 渡部 正英 (駒大) |
| 3. 14:20-14:40 | 仏性と尊厳—『正法眼蔵佛性』への一視角— | 土田 友章 (早大) |
| 4. 14:45-15:05 | 善宝寺龍王講における「信心」 | 阿部 友紀 (東北大) |
| 5. 15:10-15:30 | 垂板にみる浄土の空間表現 | 神居 文彰 (佛教大) |
| 6. 15:35-15:55 | 加賀国石川郡富樫郷住吉村の観音像と由緒書 | 永井 隆之 (仙台大) |
| 7. 16:00-16:20 | 廃寺の後に残った信仰—群馬県南西部の事例から— | 岡部 雅明 (駒大) |



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20 | メディア芸術と宗教性－白南準の場合－ | 榎本 香織 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | サイバースペースにおける宗教性 | 今井 信治 (筑波大) |
| 3. 9:50-10:10 | インターネット上の宗教情報に対する研究視角 | 黒崎 浩行 (國學院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 韓日の代理出産にみる家族道徳と生命倫理－代理母像の日韓比較－ | 淵上 恭子 |
| 5. 10:40-11:00 | 医療における宗教・スピリチュアリティ | 半田 栄一 |
| 6. 11:05-11:25 | 治療者の身体－現代医療と自己の落ち着きどころ－ | 山口 勇人 (九大) |
| 7. 11:30-11:50 | 死ぬ権利と自己決定権の理念 | 金 永晃 (大正大) |
| 8. 11:55-12:15 | 臓器移植と死生観 | 海山 宏之 (茨城県立医療大) |

- パネル 14:00-16:00 精神分析の日本的展開－靈性知識人としての精神分析家－ 代表者：安藤 泰至, 6名, 120分
 古澤平作の信仰と精神分析療法 岩田 文昭 (大阪教育大)
 土居健郎と「甘え」理論の生成 安藤 泰至 (鳥取大)
 小此木啓吾の社会論－甘え・モラトリアム・やさしさの系譜－ 堀江 宗正 (聖心女子大)
 河合隼雄と悪の問題 垂谷 茂弘 (舞鶴工業高専)
 コメンテータ：賀陽 濟 (西東京心理療法研究所)
 司会：吉永 進一 (舞鶴工業高専)

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 障害者と宗教－特に障害受容との関係性において－ | 頼尊 恒信 (大谷大) |
| 2. 9:25-9:45 | 救癩史の深層－岩下壮一における患者観の形成の視点から－ | 輪倉 一広 (愛知江南短大) |
| 3. 9:50-10:10 | 事故被害者遺族と慰霊空間 | 名和 清隆 (大正大) |
| 4. 10:15-10:35 | 回心／改宗の社会学的研究－概念、理論、方法－ | 川上 恒雄 (南山宗教文化研究所) |
| 5. 10:40-11:00 | 日本人ムスリムと改宗 | 田村 渚 (筑波大) |
| 6. 11:05-11:25 | 教育現場における〈宗教〉－三重県内学校の事例より－ | 川又 俊則 (鈴鹿短大) |
| 7. 11:30-11:50 | 教育基本法における「特定の宗教のための宗教教育」について | 小山 一乘 (関東短大) |
| 8. 11:55-12:15 | 近代日本道徳教育論と宗教哲学の意義－森信三と山縣三千雄－ | 中里 巧 (東洋大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 13:30-13:50 | 今日における先祖供養の商品化－手元供養の事例－ | 内藤理恵子 (南山大) |
| 2. 13:55-14:15 | 聖なるものをめぐる闘争－世俗化論再考－ | 丹羽 泉 (東京外国語大) |
| 3. 14:20-14:40 | 高度経済成長期における都市移住と宗教－奄美大島出身者の事例－ | 田島 忠篤 (天使大) |
| 4. 14:45-15:05 | 心理学主義とカルト－或る心理系学術団体内〈異端審問〉の構造－ | 戸田 游晏 |
| 5. 15:10-15:30 | 国家と慰霊 | 奥山 倫明 (南山大) |
| 6. 15:35-15:55 | 宗教テロとグローバル化－9.11実行犯と背景をめぐって－ | 中野 毅 (創価大) |



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 身体の脱植民地化ーハワイ先住民による生活世界の再聖化ー | 竹村 初美 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | ハワイ日系宗教の日系人信者に見られるアイデンティティの変遷 | 高橋 典史 (一橋大) |
| 3. 9:50-10:10 | 1893年シカゴ万博における諸宗教の共存と自由主義化 | 佐藤 清子 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | アメリカ開教調査報告 | 高山 秀嗣 (武蔵野大) |
| 5. 10:40-11:00 | メキシコの新たな聖人信仰ー聖母信仰との関わりにおける展開ー | 中村 千萩 (東大) |
| 6. 11:05-11:25 | 米国の世俗主義における宗教観念 | 庄司 一平 (東北大) |
| 7. 11:30-11:50 | 20世紀中期におけるアメリカ・カトリックの海外ミッション | 寺西みどり (京都ノートルダム女子大) |
| 8. 11:55-12:15 | 合衆国陸軍従軍牧師の性格ー関連文書の分析からー | 田中 雅一 (京大) |

パネル 14:00-15:40 新宗教の海外での受容ースピリティズムとの連続性という視点ー

代表者：松岡 秀明, 4名, 100分

フランスにおける真光の受容ー背景としての憑依信仰ー 榎尾 直樹 (慶大)

ブラジルにおける天理教の受容ー背景としてのエスピリティズムー 山田 政信 (天理大)

ブラジルにおける世界救世教ー背景としてのエスピリティズムー 松岡 秀明 (淑徳大)

コメンテータ：藤本 拓也 (東大)

司会：松岡 秀明 (淑徳大)

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 宗教紛争のダイナミカル・システムーボスニア紛争を例にー | 河合 裕子 (同志社大) |
| 2. 9:25-9:45 | 旧ユーゴスラビア崩壊後における宗教の復興と聖地への巡礼 | デラコルダ・ティンカ (筑波大) |
| 3. 9:50-10:10 | 台湾のプロテスタント教会ー主要教会の比較を通じてー | 藤野 陽平 (宗教情報リサーチセンター) |
| 4. 10:15-10:35 | 現代モンゴルの福音派受容過程における諸概念の解釈について | 滝澤 克彦 (東北大) |
| 5. 10:40-11:00 | 韓国高等学校における宗教教育ーカトリック教科書を中心にー | 川瀬 貴也 (京都府立大) |
| 6. 11:05-11:25 | ブータンの近代化と伝統文化 | 本林 靖久 (大谷大) |
| 7. 11:30-11:50 | 改宗の理由ーシンガポール華人とカリスマ運動ー | 杉井 純一 (武蔵大) |
| 8. 11:55-12:15 | キリスト教系女性シェルターと社会貢献ーインドネシアを例にー | 岡光 信子 (東北大) |
| 9. 12:20-12:40 | 祈りと記憶ートバ・バタック移民におけるキリスト教と慣習法ー | 木村 敏明 (東北大) |

【午後】

- | | | |
|-----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 13:30-13:50 | 天理教の近代化ー教祖崇拜の制度化ー | 岡尾 将秀 (大阪産業大) |
| 2. 13:55-14:15 | 宗教教育の場としての家族・家庭ー天理教の場合ー | 木村 裕彦 (関西大) |
| 3. 14:20-14:40 | 現代日本の新宗教組織における「一元化」ー世界救世教の場合ー | 隈元 正樹 (東洋大) |
| 4. 14:45-15:05 | 新宗教教団における体験談の諸相ー世界救世教を事例としてー | 武井 順介 (立正大) |
| 5. 15:10-15:30 | 戦後進歩的知識人の「新興宗教」観 | 塚田 穂高 (東大) |
| 6. 15:35-15:55 | 救世軍の山室軍平と禁酒運動ー近代的自律の理念と実践ー | 葛西 賢太 (宗教情報センター) |
| 7. 16:00-16:20 | 救世軍による野宿者支援ー西成小隊の活動を中心にー | 白波瀬達也 (関西学院大) |
| 8. 16:25-16:45 | 教団類型論再考ー発生論から継承・変容論へー | 寺田 喜朗 (東洋大) |
| 9. 16:50-17:10 | 「摂理」事件に関するテレビ報道の内容分析 | 玉木奈々子 (宗教情報センター) |
| 10. 17:15-17:35 | 摂理における布教・教化過程の研究 | 櫻井 義秀 (北大) |



16日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 近代化における国家神道の理念 | 新矢 昌昭 (佛光大) |
| 2. 9:25-9:45 | 近代日本の国体思想－明治憲法制定と皇典講究所－ | 小川 有閑 (東大) |
| 3. 9:50-10:10 | 明治期の由緒書上にみる民俗宗教的世界 | 市田 雅崇 (國學院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 「民間信仰」の構想－堀一郎における－ | 碧海 寿広 (慶大) |
| 5. 10:40-11:00 | 8月15日と日本宗教－お盆と戦争の軋轢の彼方へ－ | 濱田 陽 (帝京大) |
| 6. 11:05-11:25 | 近世前期における吉田神道(吉田家)の活動の分類 | 幡鎌 一弘 (天理大) |
| 7. 11:30-11:50 | 日本における江西派風水の展開について | 鈴木 一馨 (東方研究会) |
| 8. 11:55-12:15 | 近世陰陽道系知識の位相－一枚物大雑書の意義－ | 小池 淳一 (国立歴史民俗博物館) |
| 9. 12:20-12:40 | ソローと山頭火における自然－聴覚から悟りへ－ | 新保 哲 (文化女子大) |

- | | | |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| パネル 14:00-16:00 | 「民衆宗教」研究の最前線 | 代表者：宮本要太郎, 5名, 120分 |
| | 教祖伝と民衆宗教 | 宮本要太郎 (関西大) |
| | 「民衆宗教」としてみた統一教会 | 中西 尋子 (関西学院大) |
| | 「民衆宗教」研究のナラティブと今日的意義 | 永岡 崇 (阪大) |
| | 「民衆宗教」と研究史 | 福嶋 信吉 (昭和大) |
| | | コメンテータ：熊田 一雄 (愛知学院大) |
| | | 司会：宮本要太郎 (関西大) |

17日(月)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 縄文土偶の故意破壊説をめぐる議論の問題点 | 古澤 歩 (南山大) |
| 2. 9:25-9:45 | 藤樹晩年の書簡に見えたる本體と良知について | 鈴木 保實 (愛知県立熱田高) |
| 3. 9:50-10:10 | 江戸中期文人の三教論 | 井関 大介 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 「千座一人前」－御嶽信仰における御座の行－ | 小林奈央子 (名大) |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教取締の類型とその変遷－『特高月報』の量的分析－ | 小島 伸之 (東洋大) |
| 6. 11:05-11:25 | 戦後会津アイデンティティと戦死者－宮崎十三八の思索を中心に－ | 田中 悟 (神戸大) |
| 7. 11:30-11:50 | 参籠における精神と肉体－時と所を中心に－ | 龍口 恭子 (東方学院) |
| 8. 11:55-12:15 | 歩き遍路における意識の変化と宗教的次元 | 浅川 泰宏 (明大) |
| 9. 12:20-12:40 | 宗教的集合記憶のポリティクス－宗教とツーリズムの諸相－ | 山中 弘 (筑波大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 13:30-13:50 | 近世中期の富士信仰文献にみる庶民道徳 | 大谷 正幸 (総合研究大学院大) |
| 2. 13:55-14:15 | 幽霊能とその源流－神身離脱譚と夢幻説話・夢幻能－ | 今泉 隆裕 (法大) |
| 3. 14:20-14:40 | 御迎人形が語る天神祭－江戸時代における天神信仰の一側面－ | 永原 順子 (国際日本文化研究センター) |
| 4. 14:45-15:05 | 修験道と神道のあいだ－松会の柱松をめぐる思想と実践－ | 山口 正博 (香蘭女子短大) |
| 5. 15:10-15:30 | 中世における「霊魂」 | 米井 輝圭 (文化庁) |
| 6. 15:35-15:55 | The Japan Weekly Mailにみる近代日本と「宗教」 | 山口 亜紀 (南山宗教文化研究所) |
| 7. 16:00-16:20 | キリシタン信仰と「マルチリヨ」 | 狭間 芳樹 (京都光華女子大) |
| 8. 16:25-16:45 | 日本人の宗教意識とクリスマス－「愛の神」をめぐる－ | 木村 文輝 (愛知学院大) |



レジュメの作成と提出の注意

『宗教研究』への掲載は、大会最終日までに、「レジュメの紙原稿と表紙」を提出された方に限ります。13頁の表紙・本文の順にホチキスでとめ、フロッピーディスク（FD）を提出される方はFDを添えて、部会責任者にお渡し下さい。

締切 大会最終日（9月17日）各部会終了時 以後の提出、訂正は一切受け付けません。

枚数 パソコン、ワープロ原稿（縦書き）——1行40字×40行以内。総文字数ではありません。超過している場合は掲載できないこともあります。以下の書式をお守り下さい。

【パソコン、ワープロ原稿の書式】

用紙：A4横置き 設定：縦書き。1行40字×40行。文字サイズは一律、標準（10.5）

- ・1頁目——発表題目／発表者名／欧文タイトル／発表者のローマ字表記 を入力
- ・2頁目——本文 を入力

手書きは、400字詰縦書き原稿用紙4枚以内（但し、当方でパソコンに入力し、40字×40行以内）。

題目 プログラム記載の題目と同一。

本文 縦書き。邦文中の数字は、漢数字にして下さい。『宗教研究』は縦組みです。常用漢字、現代仮名づかいを用いて下さい。図表等は掲載できません。手書きの場合、1マスに1字（欧文は1マスに2字）、欧文のイタリックは下線で指示して下さい。

欧文タイトル 英語——邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。英語以外の言語——発表者が提出したタイトル通りに掲載します。

レジュメ（表紙・本文）の電子データ提出のお願い

この場合も、必ず大会最終日までに、所定の表紙を付して、紙の形でご提出下さい。メールによる電子データの送信のみでは掲載不可です。

- ① 大会当日に、レジュメと一緒にFDを提出される場合
FDのラベルに、氏名と「パソコンはOS名・ソフト名（例：Windows・ワード）、ワープロ専用機は機種名」を明記して下さい。FDは校正刷りと一緒に返却します。
- ② Eメールで送信する場合 送信先：日本宗教学会事務局 ja-religion@mub.biglobe.ne.jp
9月21日（金）までに、Windowsのワード・一太郎は添付ファイルで、それ以外はメールに貼り付けて、お送り下さい。受付開始：8月20日
メールの件名は、「レジュメ 氏名」として下さい。例：レジュメ 品川花子

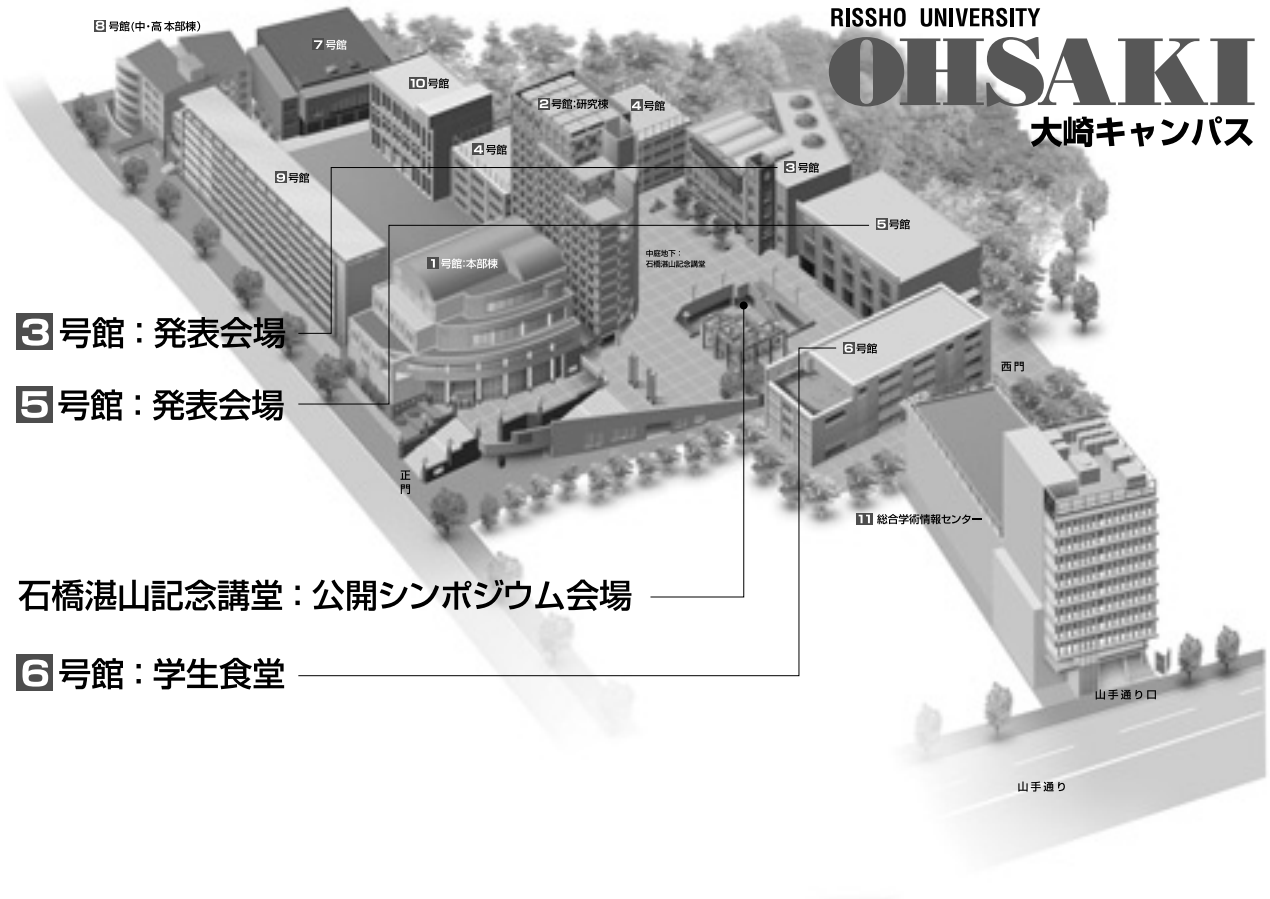


レジユメの表紙 (すべての項目に記入して下さい。)

発表題目	縦書き。発表題目の変更は認められません。 プログラムに記載されている題目と同一にしてください。
発表者名	縦書き
欧文タイトル	活字体。イタリックは下線で指示して下さい。
発表者名のローマ字表記	例：品川花子 → SHINAGAWA Hanako
電子データの提出について	以下に○をつけて下さい。 ・電子データの提出 1 有 2 無 ・データの種類 1 フロッピーディスク (会場で手渡し) 2 Eメール (送信済み / 9月21日までに送信)

レジユメの表紙は、大会ホームページ (<http://bukkyo.rissho.jp/jars2007/>) からダウンロードできます。
特殊文字は、プリントアウトしたものに、赤字を入れて下さい。

立正大学 RISSHO UNIVERSITY OHSAKI 大崎キャンパス



3号館：発表会場

5号館：発表会場

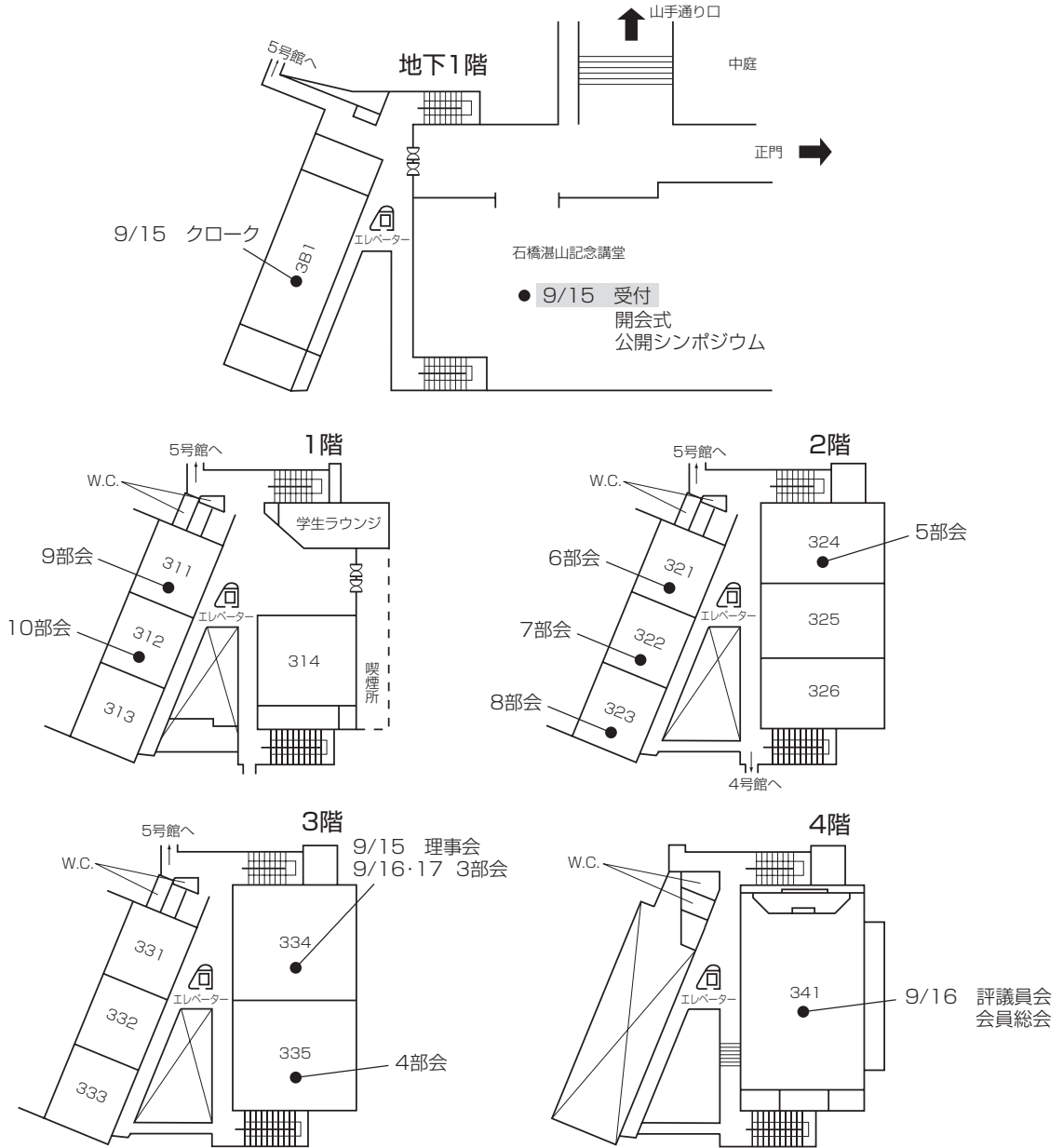
石橋湛山記念講堂：公開シンポジウム会場

6号館：学生食堂

公開シンポジウム	石橋湛山記念講堂
1部会	531教室（5号館3階）
2部会	532教室（5号館3階）
3部会	334教室（3号館3階）
4部会	335教室（3号館3階）
5部会	324教室（3号館2階）
6部会	321教室（3号館2階）
7部会	322教室（3号館2階）
8部会	323教室（3号館2階）
9部会	311教室（3号館1階）
10部会	312教室（3号館1階）

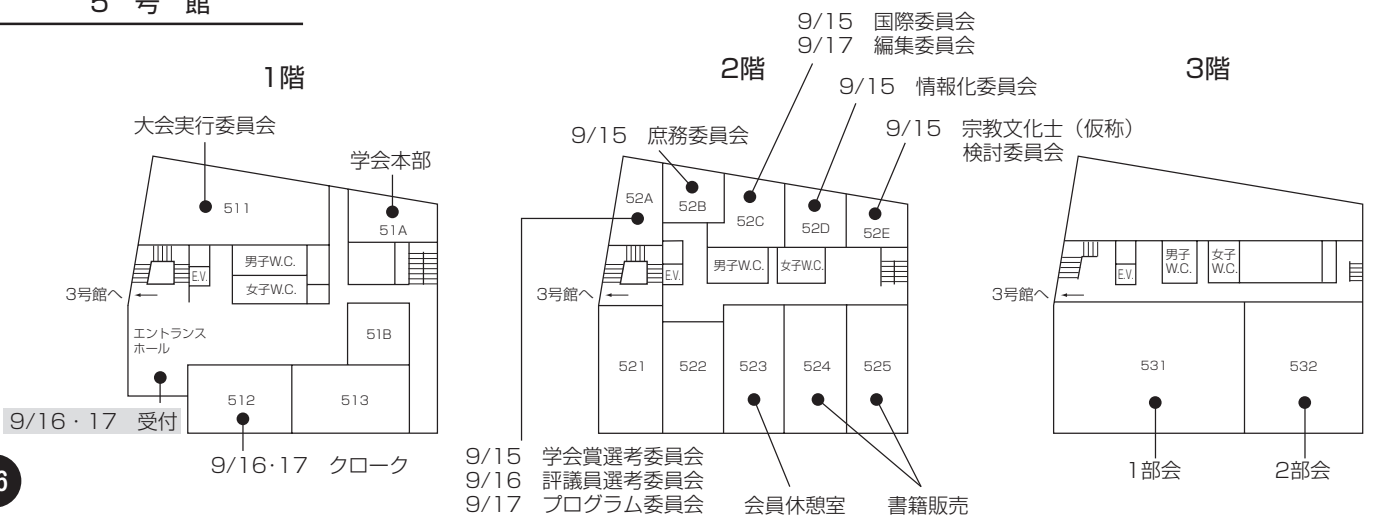
開会式	石橋湛山記念講堂
会員総会	341教室（3号館4階）
懇親会	学生食堂（6号館）
受付（9/15）	石橋湛山記念講堂
受付（9/16・17）	5号館1階エントランスホール
クローク（9/15）	3B1教室（3号館地下1階）
クローク（9/16・17）	512教室（5号館1階）
会員休憩室	523教室（5号館2階）
書籍販売	524・525教室（5号館2階）
学会本部	51A教室（5号館1階）
大会実行委員会	511教室（5号館1階）



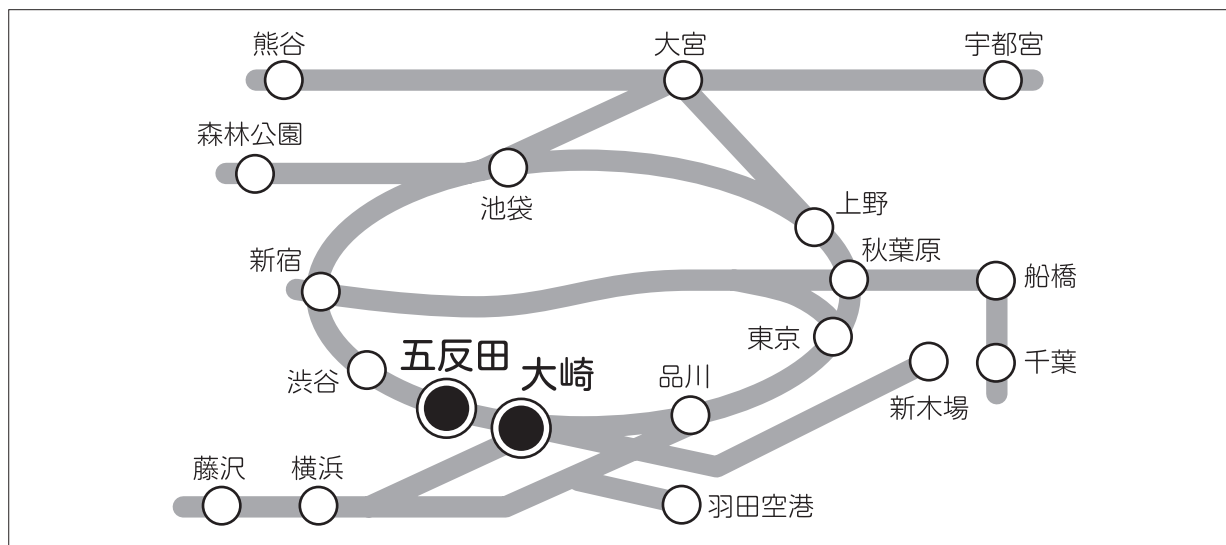
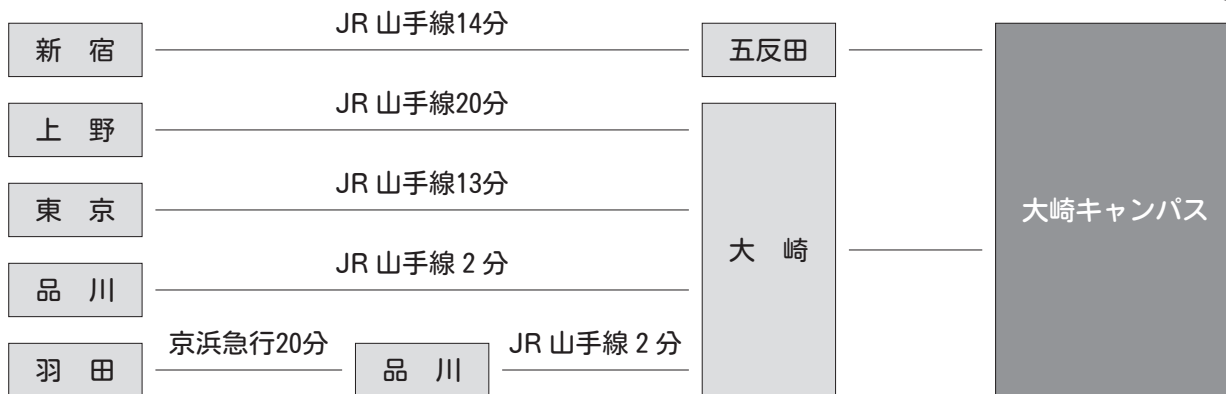


※ 3号館と5号館は各階で繋がっています

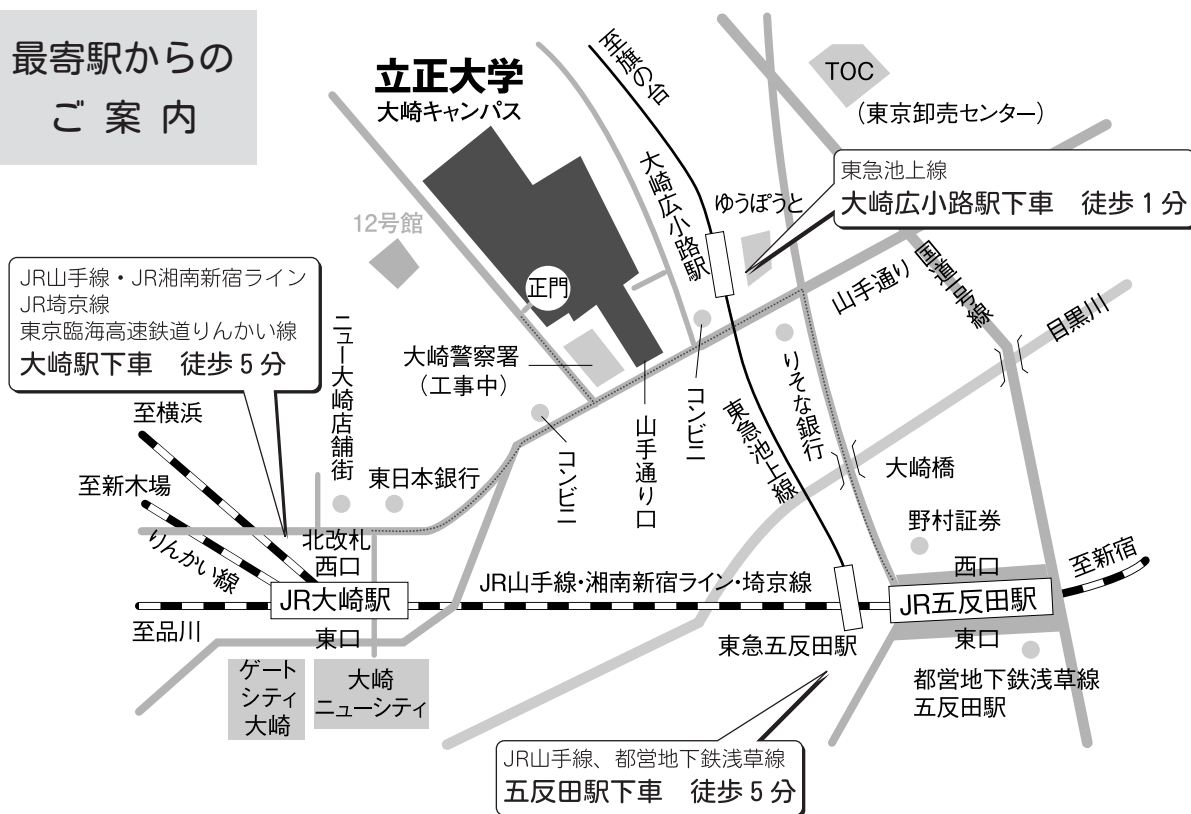
5号館



交通案内



最寄駅からのご案内





日本宗教学会

第66回学術大会実行委員会事務局

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 立正大学仏教学部事務局

TEL 03-3492-8528 / FAX 03-5487-3352

E-mail : conference2007@ris.ac.jp

URL : <http://bukkyo.rissho.jp/jars2007/>